

今回のテーマ

白内障について

今回は、先進医療で一番治療件数の多い白内障についてお知らせいたします。

白内障とは

- ・瞳の奥にある水晶体が濁る病気です。症状は、雲がかかったようにかすんだり眩しくなったり、だぶって見えたりします。一度濁ってしまった水晶体は目薬や飲み薬では元に戻せません。放置すると視力が低下し進行します。視力を回復させるためには手術が必要です。

白内障の手術

- ・現在、白内障の手術は超音波水晶体乳化吸引術が一般的です。濁った水晶体を超音波で砕き、吸引して取り除きます。そこに新たに人工の眼内レンズを挿入して手術は終了します。およそ30分で終了しますが、入院で行う場合と日帰りで行う場合があります。

新たに登場した多焦点眼内レンズについて

- ・単焦点レンズを使用した白内障手術では、遠方、近方のどちらか一方にのみ焦点が合うようになります。従って手術後は、眼鏡を併用する生活が強いられます。
- ・一方、新しく開発された多焦点レンズは、遠方、中距離、近方と、それぞれにピントが合う、遠近両用の眼内レンズと言えます。そのため、手術後、眼鏡に煩わされない快適な手術と言えます。現在、白内障の多焦点レンズを用いた水晶体再建術は、厚生労働省から先進医療として承認されています。

● 多焦点眼内レンズを用いた水晶体再建術の手術費用の一例

(医療機関により金額が異なります)

・総医療費41.5万円で健康保険自己負担3割の方の場合

先進医療部分 (自己負担)	31.5万円 (税込)
健康保険自己負担分 (3割)	3.0万円
健康保険給付分	7.0万円

上記のように被保険者の自己負担額は先進医療部分と健康保険自己負担分合計で、片目34.5万円 (税込) となります。

今回は白内障の多焦点眼内レンズを用いた水晶体再建術についてご紹介いたしました。詳細等ご不明な点がありましたらお気軽にお問い合わせ下さい。また、現在全額自己負担である先進医療の技術料を保障する保険も数多く出てきておりますのでお気軽にご相談下さい。